

評価の概要

1. 平成 15 年度終了国土地理院研究開発五箇年計画事後評価について
 - ・国土地理院は他の研究機関とは性格が異なり、事業と研究とが密接に関係していることから、研究の結果が学術面だけではなく事業・政策にどのように還元されているかも重要である。
 - ・海面変動に関する研究等の長期的に取り組むべき課題については、組織として取り組み方針を明確にすることが重要である。

 2. 新規研究課題
 - (1) 「GPSを用いたリアルタイム地殻変動モデリングに関する研究」事前評価
地殻変動監視を高度化していく上で必要不可欠な研究課題であることから推進されたい。

 - (2) 「GPS時系列データに含まれる季節的変動誤差の補正モデル構築に関する研究」事前評価
非常に難しい課題ではあるが、GPSデータを利用していく上で避けては通れない基本的な事項であり、必要不可欠な研究課題であることから推進されたい。

 - (3) 「屋内における疑似GPSを使用した高精度測位に関する研究」事前評価
いつでもどこでも誰でも地理情報を得ることができる環境を整備することは重要であり、屋外と同じ環境でGPSが使える基礎研究として、また、生活弱者等が常に位置を知ることができるための基礎研究として進められたい。
- 全体として
- ・画一的な評価を行うのではなく、それぞれの研究課題の予算や研究体制も考慮して柔軟に評価することが重要である。